



岡崎中央ライオンズクラブ

例会

2月10日(月) 12時30分 竜美例会場 会議室



国旗に正対し敬礼に続き
国歌斉唱とライオンズクラブの歌



結婚祝い左寄り
L. 伊藤、L. 筒井、L. 後藤



誕生祝い左より
L. 野村、L. 小原、L. 早川(幸)

「知っているようで、知らない日本語の語源」と題し今年もL. 筒井より面白おかしいお話を頂きました。

現在ではあまり使われていないが、聞いたことがある言葉遣いなどまるで落語を聞いているかのよう。



卓話には元会長 L. 筒井のお得意な話術で
和やかな例会になりました。



ライオンズローアは
クラブ最年少でも 51 才 L. 河合

アクティビティ

2月15日(土) 岡崎イオン



他のイベントの呼びかけもあり
通路は色々な声が飛び交います



正面入口前で呼びかけをする
クラブ員



受付で問診や血圧などのチェックをし
適応の方が献血を行って頂きます。



正面入口前に受付を出てすぐの場所に
献血車を用意

前日の積雪の影響も出たためか、例年より人かずが少なく、声をかけても断られるケースも多く、思うように献血者が現れませんでした。

今年度はもう一度4月にここで献血会を開催予定ですので、リベンジで沢山の方に献血を実施してもらえようクラブ員更なる結束を期待しましょう。

アクティビティ

2月17日(月) 岡崎市立大樹寺小学校

35周年事業として始めた「プルタブを集めて車いす」は3年目を迎え1,000kgを越える量を集めることになりました。
小中学校を中心に集められたプルタブは業者に買い取り換金をしその収益で車いすを購入し社会福祉協議会に3月25日竜美例会会場会議室で寄贈します。



開



4年3組によるプルタブ回収のお芝居が引き渡し式に先立ち行われました



校内で独自にプルタブ収集を行う様子をスライドショーで発表



2ℓペットボトルを連結させプルタブで一杯になったものを立てて展示

今回協力頂いた岡崎市立大樹寺小学校に回収に伺うと4年3組のクラスでは「プルタブレンジャー」とキャラクター「プッタ君」を中心に学校内外へのプルタブ収集アピールで、子供たちのアイデアもプルタブを集める楽しさを一杯に表現をしたお芝居を見せて頂きました。

校長先生にお話を頂くと「ただ、集めてライオンズの方に、はいどうぞでは意味がない。自分たちで集める意義をよく理解して下さい。」という言葉に、子供たちが自ら考え先生やクラブ員の想像を遥かに超える頑張りに皆心を打たれました。



プルタブレンジャーより集められたプルタブの一部を受け取る会長



車に積み込みも率先して手伝ってくれるプルタブレンジャー



城北中学校で回収風景



学校から集め割れたプルタブは1立方メートルの袋3袋が満タン

1グラムにも満たないプルタブが何万個も集まると車いすを何台も買え、それがほかの方の役に立つ事を肌身で感じてもらえると、収集をしてくれた子供たちも我々も粹に感じる事が出来たと思います。

例 会

2月25日(火) 18時00分 岡崎ニューグランドホテル

今年で5年目になるスポンサー
クラブの岡崎竜城LCとの合同例会
が開催されました。

昨年から親善スポーツ大会にも
合同チームとして参加したり両ク
ラブの交流が最近強まってきました。
今回はホストで岡崎中央LCが主
な進行を努めました。



開会宣言でゴングを鳴らす
ホスト岡崎中央LC会長L.伊藤



岡崎中央LCは家族会員も参加し
華やかになりました



ゲストとして内田市長にお越し頂き
留学時代のエピソードなど
普段ではとても聞けない
貴重なお話を頂きました



単一クラブでの懇親会と違い
情報交換も美味しいお食事で
アルコールに話が弾みます



ビジターで 4RYCE 委員の
L. 乗松も加わり記念撮影



爆音を轟かせ打ち鳴る太鼓に
内臓まで揺られ言葉もない



両クラブ会長による太鼓の乱れ打ち

例会と懇親会で約3時間の合同例
会は終了後何人もの会員が、話し足
りない、飲み足りないと、いろいろな
理由で夜の街に消えてゆきました。



終宴はみんな手をつなぎ輪になり
「また会う日まで」を合唱



ライオンズブローは竜城 LC
次年度会長の L. 鈴木